

総務常任委員会会議録

1 開会日時 令和7年1月23日（木）午前10時0分

2 閉会日時 令和7年1月23日（木）午前11時17分

3 会議場所 委員会室

4 出席委員

3 番	安藤 利博君	8 番	大口 浩志君	12 番	松田 勲君
15 番	下山 哲司君	16 番	実盛 祥五君	17 番	佐藤 武君

5 欠席委員

なし

6 説明のために出席した者

総合政策部長	倉本 貴博君	総務部長	戸川 邦彦君
財務部長	杉原 洋二君	赤坂支所長兼 市民生活課長	小坂 憲広君
熊山支所長兼 市民生活課長	稲生真由美君	吉井支所長兼 市民生活課長	中務 浩行君
消防長	檜原 秀幸君	総合政策部参与	岡本 和典君
秘書広報課長	小引 千賀君	政策推進課長	山崎 和枝君
総務課長	花谷 晋一君	くらし安全課長	正盛 充敏君
財政課長	原田 幸子君	管財課長	大窄 暢毅君
税務課長	田渕 忠則君	消防総務課長	金光 正浩君

7 事務局職員出席者

議会事務局長	原田 光治君	主任	平尾 和也君
--------	--------	----	--------

8 協議事項 1) 事業の進捗状況について

2) その他

午前10時0分 開会

○委員長（大口浩志君） ただいまから総務常任委員会を開会いたします。

最初に、私からおわびを一言申し上げます。

先般、12月中旬のマスコミ報道の件に関わりまして、皆様方には私の目配り、気配りができておりませんで御迷惑をおかけいたしました。申し訳ありませんでした。

これから協議事項に入ります。

本日の進め方ですが、まず事業の進捗状況について一括説明の後、質疑を受けます。次に、その他の中の3月議会提出予定議案の条例部分について同様にします。次に、令和6年度補正予算部分について同様にします。次に、令和7年度当初予算部分について同様にします。最後に、その他のその他について同様にしたいと思いますが、そのように進めてもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大口浩志君） それでは、協議事項1番目、事業の進捗状況について、総合政策部から順番に説明をお願いいたします。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 総合政策部の資料を御覧いただきたいと思います。

それでは、政策推進課から2件、進捗状況について御報告させていただきます。

まず、(1)第3次赤磐市総合計画の策定についてでございます。

2ページからでございます。

これまでも御案内させていただいておりますが、現在第3次赤磐市総合計画の策定を進めております。計画期間につきましては、1番で令和7年度から令和10年度の4年間が前期です。後期は令和11年度から令和14年度の4年間で、8年間の計画期間で策定を進めております。

2番でございます。将来人口の目標、まだこちらは案でございますが、現在推計されている人口減少を緩やかにし、将来世代にわたる豊かな暮らしを実現させ、持続可能なまちづくりを推進していくために先ほどの計画期間の最終年度、令和14年度末の将来人口の目標を4万人と設定したいと考えております。

次のページの3番です。こちら将来人口の推計を出すに当たりまして、様々なパターンの推計を参照させていただきました。社人研の推計が令和14年度については、3万9,625人という推計が出ておりますので、4万人という設定をさせていただきたいと考えております。

下側の3、重点戦略案でございます。まちづくりの将来像の実現に向けまして、赤磐市らしいまちづくりを進めるために3つの重点戦略を展開していきたいと考えております。産業が活性化したまち、子育て・教育環境が整ったまち、住んでいて安心安全なまちという、しごと、こども、しくみという戦略を展開して、共に助け合いながらまちづくりの将来像の実現を目指

していきたいと考えております。

4ページでございます。

4番として基本計画の案でございまして、先ほどの3つの重点戦略をさらにそれぞれ3つの戦略プログラムに分けまして、プログラムごとに施策を展開していきたいと考えております。それぞれの重点戦略に対して、それぞれ3つずつ設定させていただこうと考えております。こちらの基本計画の詳しい内容については、最後に説明しますが1月31日にまちづくり審議会を開催する予定にしております、そちらで詳しく審議していただいて、また皆様方にも御審議いただきたいと考えております。ということで、まだまだ今日は体系までしかお示しできていないんですけれども、また詳しい資料については審議会後にお示しさせていただきたいと考えております。

最後5番で4ページから5ページ、策定経過及び今後の予定でございしますが、令和7年2月頃になると思いますが、まちづくり審議会を経て素案を検討させていただいた後にパブリックコメントに出す案を審議していただきます。もちろん、こちらの委員会それから各常任委員会にもお示しさせていただきます。こちら令和7年3月頃にパブリックコメントの実施を予定しております、年度が明けまして4月にパブリックコメントを実施した結果を踏まえた最終案を審議会でも審議していただき、最後に令和7年6月の議会に議案を上程していきたいと考えております。

続きまして、6ページ、7ページ、8ページになりますが、(2)赤磐市市制20周年記念ロゴマークのデザイン募集についてでございます。

前回の委員会でも募集についての御案内をさせていただいております。募集期間は、令和6年12月20日から令和7年1月31日まででございまして、もう少し募集期間がございしますが、現在の応募状況を御報告させていただきます。1月22日時点で65点の御応募がございします。そのうち小学生の御応募については、53点ございました。これから締切りが迫ってまいります、まだ続々と御応募をいただいている状況でございます。

今後につきましては、応募作品のうちから4作品を選出しまして一般投票をウェブそれから紙で行いまして、一番多かった作品を最優秀作品として決定させていただいて、実際にロゴマークとして様々な場面で活用していきたいと思っております。投票期間につきましては、令和7年2月10日から2月28日までを予定しております。決定しましたロゴマークのお披露目については令和7年3月7日、まさに合併をした日に予定をしております。

総合政策部からは以上です。

○くらし安全課長（正盛充敏君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 正盛課長。

○くらし安全課長（正盛充敏君） くらし安全課から御説明させていただきます。

総務部資料をお開きいただきたいと思います。

(1) FM赤磐中継局開局5周年記念特別番組について御報告をさせていただきます。

FM赤磐中継局開局5周年特別記念を公開生放送で実施いたします。この番組は、令和7年3月1日をもって開局5周年を迎えるFM赤磐中継局の存在を幅広くPRし、防災意識の高揚とFMラジオの周知を目的に特別番組の生放送を行うものであります。出演者によるトークショーや緊急放送の試験放送などを行う予定としております。開催日時につきましては、令和7年2月2日日曜日13時30分から15時で、山陽ふれあい公園フィットネスアリーナを予定しております。

現在、参加希望者には往復はがきでの申込みをいただいておりますが、参加枠にも若干余裕がありますので、参加を御希望される方が皆様の中におられましたら、くらし安全課まで御連絡いただければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

以上で総務部の説明を終わります。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 続きまして管財課から御説明いたします。

財務部の資料2ページをお願いいたします。

本庁舎等改修工事につきましては、12月末時点で全体の83%の進捗となっております。先週1月14日火曜日から本庁舎西側の2期工事エリア、保健福祉部の業務を開始しておりまして、中央公民館では引き続きアウトフレームや外壁の改修工事などを施工しているところでございます。

なお、近年少子化などで建設業離れが進んでいることに鑑みまして、またこのたびの改修工事の機を捉え、1月20日月曜日ですが高陽中学校の生徒21名をお招きしまして、現場見学会を開催いたしました。レベル測量や大きなトルクレンチを使つてのボルト締めといったものや現場職員の方とのフリートークなど楽しく、また熱心に建設業における知識を学習していただき、御好評いただきましたことを併せて報告させていただきます。

次に、③旧消防本部訓練塔解体工事ですが、一般競争入札によりまして2月末までを工期として株式会社安東組と工事請負契約を締結し、現在実際の現地施工に向けまして準備等を進めております。解体工事ということで音や振動が想定されるところ、安全性、確実性等を最大限考慮しまして、適正に工事に取り組んでまいりたいと考えております。

また、(2)熊山支所・熊山公民館解体等整備事業につきましては、現在解体工事の発注に向け、御覧の内容で物件調査を実施しております。今後、順次所内の物品の移動や執務室の移転などを行っていくこととなりますが、情報発信、周知等を十分図りながらスムーズな事業進行に努めてまいりたいと考えております。

最後に、(3)物品即売会についてでございます。当委員会でもお知らせさせていただきましたとおり、去る12月7日10時からくまやまふれあいセンターにおきまして開催いたしました。

当日は、開場前から約40名が並ばれるといった盛況ぶりでございまして、約30分程度で完売といった状況でございました。3ページに当日の会場の様子を載せております。来場者の方をお願いいたしましたアンケートから品数や回数などをもっと増やしてほしいという御意見もいただいております、不要品の数等の関係もございますが、できれば今後も積極的に企画等をしていきたいと考えております。

財務部管財課から以上です。

○委員長（大口浩志君） 事業の進捗状況について説明が終わりました。

それでは、ただいまの説明について質疑はございませんか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 公民館の今やりの耐震の事業内容が聞かれても分らないのじゃけど、その辺を聞かれたら答えれるぐらいの説明だけしてもらえますか。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 中央公民館でございます。御視察いただいたときからいいますと、設計等に大分時間を要しまして現在、外壁の撤去が進んでおります。やっと新しいALC外壁パネルのはめ込みができる下地が何とか出来上がってきまして、これから外壁がずっとできてくるところでございます。耐震改修工事に関わっての内装関係、衛生設備でトイレといったところも並行して進めている状況でございます。

以上です。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 工期的には、いつ頃完了の予定ですか。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 工期的には、本体工事につきましては6月末と考えておりますが、これに引き続きまして本体工事が終わりましたらそれぞれ設備、通信機器等の整備も進めてまいります。それから引っ越しといったものも出てきますので、夏頃いっぱいをめどに今目指して頑張っております。

以上です。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 9月議会までには完了ですか。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 予定ですのでしますとは言えない。でもしたいと思っております。目指して頑張ります。ありがとうございます。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

○委員（下山哲司君） はい。

○委員長（大口浩志君） ほかにございませんか。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） さっきの件でございますが、今日見たら足場を崩していつてるんですけど、これからまだ外壁をするんですか、何かもう足場を組んだらもうできたのかなと思うて、外しよるからと思ったんですけど、どうなんですか。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 足場が外れているのは、アウトフレームができましたので西側が外れていると思います。公民館側それから保健センターは、防音シートでまだ囲まれておりまして、引き続き工事を施工中ということでございます。

以上です。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） ちょっと気になったのが、足場をもう外しよるんで、公民館の入り口のグリーンのところは塗り替えしないんですか。色あせた状態でそのまま行くのかな。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 今、手元に詳細の工事施工の資料がないのですが、できる限り美化には努めたいと思いますので、塗り替え等も検討したいと思います。

以上です。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 普通だったら足場を組んでるときに塗ると思うんですけど、完全に前にあったのを全部取りよんです、ちょうど今見たらね。後から塗るというたら大変だと思うんですけど、その辺は大丈夫なんですか。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 玄関先は、今回改修工事の効果等を示していく観点でも重要なことだと思います。塗り替え等をさせていただくように進めたいと思います。

以上です。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 一番入り口が目立つんで、せっかく周りをやっても入り口が前のままだったらどうかというのがあるんで、その辺は予定が入ってるんかどうか分かりませんが、しっかり確認を取ってください。

それと、熊山支所解体の物件調査と書いてあるんですけど、約1,000万円近くかかるんですけど、これは具体的にどういったことを調査されるんか。

○熊山支所長兼市民生活課長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 稲生支所長。

○熊山支所長兼市民生活課長（稲生真由美君） 解体するに当たりましてどういうものが使われているとか、設備等の建物の調査を詳細にしないと設計に組み込めないため、その調査になります。

以上です。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 調査だけでこのぐらいかかるもんなんですね。意外とするなと思ったんですけど。

○熊山支所長兼市民生活課長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 稲生支所長。

○熊山支所長兼市民生活課長（稲生真由美君） 設計上、そのようにかかるということになっております。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） これから調査をされて、具体的に前に予算も出とるんですけど、あそこを解体して駐車場という話になっとんですが、大体の流れを教えてください。

○熊山支所長兼市民生活課長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 稲生支所長。

○熊山支所長兼市民生活課長（稲生真由美君） 流れとしましては、この3月末までに調査物件をしまして、それを組み込んだ解体の設計を作ります。入札と発注をしまして、年内ぐらいには更地にできればというぐらいのイメージではあります。

○委員長（大口浩志君） よろしいか。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 20周年記念のロゴマーク募集ということで、10周年のときにもやった記憶があるんですけど、これは20周年だからこの1年間ずっとこれでどんどんアピールをされ

てやるんでしょうけど、イベント的には大体いつ頃を考えていらっしゃるのか教えていただきたい。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 20周年の関連事業ということであるかと思います。20周年の関連事業の経費等については、今回ではなく年度が明けてから要求していきたいと考えておりますので、夏ぐらいになるかなと思っておりますし、その内容についても例えば式典等それから関連イベント等ということになってくるとは思います、そのほかにも市でもいろんな事業をしておりますので、そういったものに冠をつけて実施していくと考えております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 具体的にまだはっきり決まってないということですね。予算的には、これはまた当初予算に上がってくる予定なんですね。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 当初予算につきましては、このたびは骨格予算ということでございますので、当初予算に関連の経費を計上の予定は今のところございません。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

○委員（松田 勲君） はい。

○委員長（大口浩志君） ほかにございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 松田委員から御指摘があった熊山支所と公民館の解体整備事業ですか、私も金額が大きいなと思って質問しようかなと思ったんですけども、支所長の答弁では見積りが積算してこの程度になるんですという説明があったんですが、当然その予算は取っているわけでありまして、1,000万円近い金額についてこれだけの事業の大体概算といいますか、これこれにこれだけかかりますという説明がぜひとも必要かなと、教えていただきたいなということなんで、そこまで把握されてますか。

○熊山支所長兼市民生活課長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 稲生支所長。

○熊山支所長兼市民生活課長（稲生真由美君） すみませんが、そこまでの把握が私ではできておりません。

○委員（佐藤 武君） いやいや、これはもう予算が組まれとるわけですから積算根拠という

のは当然されていると思うんですけども。調査をするんですか、これから。

○熊山支所長兼市民生活課長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 稲生支所長。

○熊山支所長兼市民生活課長（稲生真由美君） 解体を設計するために必要な内容を調査するということで、どういう素材が使われているか、どういう解体方法がいいかとかを物件調査で行っていくものでございます。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 事業の分かる人が説明をしてあげないと恐らく分からんと思う。どういうものを処分すりゃあどのお金がかかるとかというのがあるから、この調査をして、それから簡単に家庭で言えば分別の何にお金がかかるとか、工費はどのくらいかかるとか、そういうことになるんで、その辺の説明をしてあげたほうが分かりやすいんじゃないかと。

○財務部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 杉原部長。

○財務部長（杉原洋二君） 本件の積算の内容についてですが、先ほど下山委員も言われましたように、建物全体に使われているコンクリートの立米数、それに使われている鋼材、ガラスの量、当然容量と目方、そしてまたプラスチック類、石こうボード類をそれぞれに解体処分するに当たって数量、目方を算出してまいります。また、これに伴う外部の解体時に必要となってくる足場、掛ける面積も積算していきます。これらは、既存の今ある図面に基づきましてコンクリートが何立米使われている、何キログラムある、何トンあるというのを積算して、それに関わる人件費が幾らかかっているか、建築工事に含まれているアスベストがどのくらいの量がどの部材に含まれているかという調査もしていくもので、一定の公共工事の積算基準に基づきまして積算したところでございます。こういった数量が出ましたら市役所で必要な単価を乗じまして、解体に係る工事費を積算するということでございます。

概要については以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

○委員（佐藤 武君） はい、結構です。

○委員長（大口浩志君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大口浩志君） なければ、事業の進捗状況についてこれで終わります。

続いて、協議事項２番目、その他の中の３月議会提出予定議案の条例部分について、総務部から順番に説明を願います。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） それでは、総務課から条例関係の御説明をさせていただきます。
総務部資料の3ページを御覧いただければと思います。

(1) 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について、概要をまず説明させていただきます。

この条例改正は、令和4年6月に刑法等の一部を改正する法律が公布されまして、公布日から起算して3年を超えない範囲内において、政令でその施行期日を定めることとされておりました。この法律が令和7年6月1日から施行することとなりましたので、関係条例を改正するものでございます。

刑法の改正に伴い趣旨としましては、従来の刑罰でございます懲役及び禁錮を廃止されまして、これらに替えまして拘禁刑という刑に一本化されるということで、拘禁刑が創設されました。これによりまして、条文内に懲役または禁錮が引用されている赤磐市議会の個人情報の保護に関する条例、赤磐市職員の給与に関する条例、赤磐市障害年金条例、赤磐市消防表彰条例、この4つの条例についてまとめて改正を行うものでございます。施行日は、法律の施行と同日の令和7年6月1日を予定しております。

4ページを御覧いただければと思います。

(2) 赤磐市支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例についてと(3) 赤磐市防災行政無線条例の一部を改正する条例につきましては、熊山支所の移転に伴いまして熊山支所そのものの所在地と支所に設置している防災無線の遠隔制御装置の所在地が変更となることから、条例改正を必要とするものでございます。施行日は、令和7年4月1日を予定しております。

条例の説明は以上となります。

○熊山支所長兼市民生活課長（稲生真由美君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 稲生支所長。

○熊山支所長兼市民生活課長（稲生真由美君） 財務部資料の4ページをお願いいたします。
赤磐市熊山総合センター条例でございます。

熊山支所を移転することに伴いまして、熊山支所と公民館と保健センターという機能を合わせた複合施設として管理するため、熊山保健福祉総合センターから熊山総合センターに名前を変更し、管理運営していくための条例を制定するものでございます。施行年月日は、令和7年4月1日としております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） ただいまの御説明は、3月議会の提出予定議案でございますので、聞きおくという程度にとどめていただけたらと思います。

続いて、令和6年度補正予算部分について、総合政策部から順番に説明をお願いいたします。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 総合政策部の資料 9 ページを御覧いただきたいと思います。

その他といたしまして、令和 7 年 3 月赤磐市議会定例会提出予定議案について、(1)令和 6 年度赤磐市一般会計補正予算（第 7 号）からでございます。

当課におきましては、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について増額させていただきまして、事業を執行されるのが社会福祉課になりますので、そちらの事業に全額充当させていただく予定です。

続いて、(2)補正予算（第 8 号）でございます。

まず、歳入でございます。

実績見込み等を踏まえまして、地域少子化対策重点支援交付金の減額、それから物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増額及び財源更正をさせていただきます。プラス定額減税補足給付金を実績に応じて減額、地域公共交通確保維持改善事業補助金も実績に応じて減額を予定しております。

②雑入でございます。地域活性化センター助成金を増額し、ハレカハーフチャージ金を実績見込みにより減額させていただきます。

続いて、10ページでございます。

こちらは歳出関係になりまして、①市民バス運行事業における事業費、張出待合所設置工事に係る入札執行残の減額でございます。

②移住・定住促進事業、それから③も同様ですが、こちらはそれぞれの補助金の関係で実績見込みによりまして減額させていただきます。先ほどの歳入も連動をしております。

④特定目的基金費、ハレカハーフ事業において個人の方がチャージをされた金額が歳入として入っておりますが、実際に利用された額の差額が出てまいります。そちらの差額分について、基金に積み立てる費用でございます。

総合政策部からは以上です。

○くらし安全課長（正盛充敏君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 正盛課長。

○くらし安全課長（正盛充敏君） 続いて、くらし安全課の補正予算について御説明させていただきます。

総務部資料 5 ページをお願いいたします。

内容につきましては歳入歳出予算ともに 2 件となっております。

歳入につきましては、歳出の減額に伴うものであるため、歳出で説明させていただきます。

1 つ目の防犯灯設置工事に伴う事業精査及び入札執行残により、202 万 6,000 円を減額補正するものであります。

2つ目につきましては、自主防災組織活動支援事業補助金の見込みを下回ったことにより、51万5,000円を減額補正するものであります。

以上の2事業について、減額補正させていただいておりますのでよろしくお願いいたします。

以上で総務部の説明を終わります。

○財政課長（原田幸子君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 原田課長。

○財政課長（原田幸子君） 財務部資料4ページをお願いします。

(2)令和6年度赤磐市一般会計補正予算（第8号）について、財政課分の説明をさせていただきます。

①地方交付税につきましては、国からの交付決定による増額、②利子及び配当金は、実績見込みによる増額、③財政調整基金繰入金につきましては、補正予算の財源調整による増額、④その他特定目的基金繰入金は、基金運用利子収入の実績見込みによる増額とスマートコミュニティ基金廃止による繰入金を計上するものです。

次に、歳出ですが、①財政管理事業につきましては、公会計支援業務における経費の実績見込みによる減額。

5ページに移っていただきまして、②財政調整基金につきましては、利子収入の実績見込みによる増額、③減債基金費につきましては、利子収入の実績見込みによる増額と普通交付税の項目追加による積立金の増額、④特定目的基金費につきましては、利子収入の実績見込みによる増額及びふるさと応援寄附金の実績により積立金を増額するものです。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 続きまして、管財課分1件ですが御説明させていただきます。

2款総務費、1項総務管理費、5目財産管理費におきまして、庁舎の維持管理経費、光熱水費などでございますが、こういったものを実績見込みにより減額するものでございます。

以上です。

○税務課長（田淵忠則君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 田淵課長。

○税務課長（田淵忠則君） 続きまして、税務課分になります。

まず、歳入ですけど、市民税の個人分につきましては定額減税の実績見込みにより減額しています。それから、法人分につきましても実績見込みにより減額を行っております。

続きまして6ページになりまして、歳出ですが、定額減税補足給付金事業に係る郵便料、それから個人住民税申告、公的年金支払報告書の電子化に係る経費、それから地方税共同機構負担金を実績見込みにより減額としています。

財務部からは以上です。

○消防総務課長（金光正浩君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 金光課長。

○消防総務課長（金光正浩君） 消防本部資料を御覧ください。

その他、令和7年3月議会定例会提出予定議案について、2ページになります。

(1) 令和6年度赤磐市一般会計補正予算について、歳入から御説明させていただきます。

①受託収入として、山陽高速自動車道救急受託事業収入における支弁金確定により減額するものです。

②合併特例事業債、消防施設整備における消防本部主訓練塔強化事業に伴い、有利な財源が確保できましたので財源更正をかけさせていただきました。

歳出にあつては、補正予算はありません。

消防本部からは以上です。

○委員長（大口浩志君） ただいまの令和6年度補正予算部分について、何かございましたら委員の皆さん、お願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大口浩志君） それでは、令和6年度補正予算部分についてはこれで終わります。

続いて、令和7年度当初予算部分について、総合政策部から順番に説明をお願いいたします。

○秘書広報課長（小引千賀君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 小引課長。

○秘書広報課長（小引千賀君） それでは、総合政策部から当初予算について説明させていただきます。

資料につきましては、11ページを御覧ください。

令和7年度赤磐市一般会計当初予算につきまして概要を説明いたします。

秘書広報課が予定している予算につきまして、歳出の主なもののみ御説明いたします。

まず、①一般管理費事業では特別職の秘書事業、代表電話受付業務などの経費を計上する予定としております。

次に、②公聴広報事業では、拡充事業として広報紙をウェブ上で公開する際に音声読み上げ機能と多言語翻訳機能を追加する予定としております。財源としまして、国庫補助金の充当を予定しております。

秘書広報課からの説明は以上です。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 引き続き、政策推進課の事業の説明をさせていただきます。

12ページをお開きいただきたいと思います。

まず、歳入に関しましては、①バス使用料ということで市民バス、広域路線バスの使用料を見込んでおります。

②総務費補助金でございます。地域少子化対策重点推進交付金、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金それから新しい地方経済・生活環境創生交付金の3種類を計上しております。

地域少子化対策重点推進交付金につきましては、歳出で13ページの一番下の⑥結婚支援事業に対しての歳入となります。物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金は、各所管でされる事業に充当させていただきます。

なお、新しい地方経済・生活環境創生交付金につきましては、本年度までデジタル田園国家構想交付金という名称で交付していただいておりますが、名称が次年度から変わる予定でございます。

③企画費補助金でございます。移住・定住促進応援事業補助金については、13ページの④移住・定住促進事業の空き家改修補助金の経費に対して支給されるものです。地域公共交通維持確保支援事業補助金については、①生活交通対策事業と③広域路線バス運行事業に充当を予定しております。

④企画費委託金につきましては、統計調査の関係の経費でございます。主に国勢調査の経費に充当です。⑤受託収入につきましては、広域路線バスを関係市町とともに運行しておりますので、美作線及び和気線の運行経費に対して収入があるものでございます。

13ページ、歳出でございます。

①生活交通対策事業につきましては、交通計画の評価検証それから柵原星のふる里バスの負担金、ハレカハーフ事業の経費でございます。

②市民バス運行事業につきましては、市民バスの9路線及びデマンドバス9区域の運行経費でございます。

③広域路線バス運行事業については、赤磐・美作線、赤磐・和気線及び令和7年4月から新設させていただく予定の赤磐・瀬戸線の運行経費でございます。

④移住・定住促進事業、移住相談、移住情報の発信、空き家改修補助等の経費でございます。

⑤総合計画・総合戦略推進事業、現在策定を進めております総合計画及びまち・ひと・しごと総合戦略の策定に要する経費でございます。今年度それから来年度にかけて策定を進めております関係で令和7年度も経費を計上させていただこうと思っております。

⑥結婚支援事業として新婚世帯家賃補助、結婚新生活支援事業の経費でございます。

14ページでございます。

⑦として、令和7年10月1日基準で国勢調査の実施を予定しております。そちらの経費を計上させていただいております。

簡単ですが、総合政策部からは以上でございます。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） それでは引き続きまして、当初予算について御説明します。

総務部資料の6ページを御覧いただければと思います。

総務課の予定しております当初予算につきまして、歳出の主なものと新規事業のみ御説明をいたします。

中段の歳出を御覧ください。

①職員人件費につきましては、総務課が計上しております2款総務費から9款消防費の人件費を合計したものを記載しております。

②住民情報システム運営管理事業につきましては、この事業は例年どおりあるのですが、その中に新規事業としましてガバメントクラウド利用料を新規に計上しております。現在、住民情報システムの標準化作業を行っておりまして、システムが完成しましたら国の基準に基づき準備されたガバメントクラウドという保存領域にシステムをリフトアップすることが各自治体の努力義務とされております。本市につきましては、令和7年度から一部システムについてガバメントクラウド領域を活用し、安定稼働を図っていきいたいことから利用料を計上させていただいております。

7ページを御覧ください。

③自治体DX推進事業につきましては、本年度に引き続きまして継続事業として計上させていただいてるのですが、先ほど申し上げましたとおり住民情報システムの標準化作業を予定しております。令和7年度中に完成するようにしていきたいと思っておりますので、その事業費として2億9,910万6,000円を計上させていただいてます。これは、全額国庫で対応する予定となっております。

④参議院議員選挙費につきましては、令和7年7月任期満了に伴う参議院議員選挙の経費を予定しております。

総務課からは以上となります。

○くらし安全課長（正盛充敏君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 正盛課長。

○くらし安全課長（正盛充敏君） 引き続き、くらし安全課の予定している予算につきまして御説明させていただきます。

8ページの中段、歳出で御説明させていただきます。

各事業7項目ありますが、骨格予算となっておりますことから昨年度からの大きな変動はありません。人件費による増額部分また⑦防災費につきましては、昨年度より2年に1回の総合防災訓練がなくなることにより減額となっております。それ以外のところは、人件費等々の骨

格予算となっておりますので、大きな変動はありません。

以上で総務部の説明を終わります。

○財政課長（原田幸子君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 原田課長。

○財政課長（原田幸子君） 財務部資料の6ページをお願いします。

(3) 令和7年度赤磐市一般会計予算の財政課分について御説明いたします。

歳入の主なものといたしまして、①地方揮発油譲与税から7ページ、⑦地方特例交付金までの地方譲与税及び交付金につきましては、国や県の見込額に合わせて前年の見込みなども確認した上で計上いたしております。

⑧地方交付税は、前年度実績、国の増減率を勘案し、計上いたしております。

⑨財政調整基金繰入金は、一般財源の不足額を計上いたしております。

⑩その他特定目的基金繰入金は、地域振興基金繰入金及びふるさと応援基金繰入金を計上いたしております。

次に、歳出ですが、①財政管理費は予算編成、予算管理に関する経費等を計上いたしております。

②企画費は、行財政改革を推進する経費を計上いたしております。

③財政調整基金費、④減債基金費、8ページに移っていただきまして、⑤特定目的基金費につきましては基金運用利子による積立て等を見込み計上いたしております。

⑥、⑦公債費につきましては、長期借入金の償還元金と利子及び一時借入金の利子を計上いたしております。

財政課は以上です。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） それでは、管財課分の説明を引き続きさせていただきます。

資料8ページの中段あたり、財政課の続きとなります。

歳入ですが、主なものとしましては①、②ではそれぞれの施設使用料を③では財産貸付収入を計上しております。

④物品売払収入では、先般開催しました不用品即売会、こういった実績を生かしまして令和7年度も継続して不用品等の売払収入を見込み、計上させていただいております。

9ページをお願いします。

次に、歳出となります。

主なものでは、②財産管理費では、本庁舎それから東庁舎、庁用自動車、公有財産の管理、公共施設等総合管理計画、庁舎等整備事業、こういったものに係る経費を計上しております。

③支所及び出張所費におきましては、それぞれの支所、出張所費の運営経費を、また④施設

管理費では桜が丘いきいき交流センターの維持管理、それから運営に係る経費を計上させていただいております。

管財課からは以上です。

○税務課長（田淵忠則君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 田淵課長。

○税務課長（田淵忠則君） それでは、税務課分につきまして、引き続き9ページの最下段からになります。

歳入につきまして、市税が9ページ市民税それから10ページに参りまして固定資産税、軽自動車税、市たばこ税になります。実績と社会動向を勘案いたしまして、記載のとおり計上しております。

⑧県税取扱交付金につきましては、県からの委託金の歳入を計上しています。

次に、歳出ですが、総務費の徴税費で1目税務総務費それから2目賦課徴収費で、それぞれ記載のとおり計上しております。

財務部からは以上です。

○消防総務課長（金光正浩君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 金光課長。

○消防総務課長（金光正浩君） 消防本部資料2ページになります。

(2)令和7年度赤磐市一般会計予算について、歳入から説明させていただきます。

①受託収入として、山陽高速自動車道救急受託事業収入として山陽自動車道救急業務支弁金の令和6年度実績金額である300万円を計上させていただいております。

続いて、②消防債です。緊急車両更新計画に基づく車両更新事業として、消防ポンプ自動車を更新させていただきます。つきましては、施設整備事業債で1,730万円、一般単独事業債で3,130万円を充当させていただきます。

さらに、各地区消防施設整備として上仁保地区の可搬積載車、小型動力ポンプを更新するため、緊急防災・減災事業債から530万円を充当させていただきます。

③過疎対策事業債です。各地区消防施設整備における東軽部地区の防火水槽修繕工事補助事業で、過疎対策事業債70万円を充当いたします。

続いて、3ページになります。

歳出ですが、常備消防費、非常備消防費、消防施設整備費から主なもののみ御説明させていただきます。

3ページの最下段、備品購入費の東出張所に配備する消防ポンプ車の更新が大きな事業となります。

消防本部からは以上です。

○委員長（大口浩志君） 令和7年度当初予算部分について各部の説明が終わりました。

ただいまの説明について、質疑はございますか。

松田委員。

○委員（松田 勲君） DX事業で令和7年度中と言われたんじゃないけど、前に質問したときには秋頃にはという話だったと思うんですけど、だんだんずれてるんですか。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） あくまでも令和7年秋頃に予定はされているんですが、赤磐市がしているシステムじゃなくて関連するシステムで遅れが出ているところがありまして、秋頃にできるかできないかと今はっきり分からない状態です。ただ、令和7年度中には間に合うようにということで今作業しておりますので、そういった状況でございます。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

○委員（松田 勲君） また、本番で聞きます。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 物価高騰のは、令和6年度についたのを令和7年度に事業をするから上がっとなんじゃな、これ。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 令和6年度で配分されたものについては、令和6年度の補正で全額充当させていただきます。今回当初予算に上がっている金額については、令和6年12月に新たに配分をされたんです。その配当金額を令和7年度の当初で事業をするものについて、充当するという形にさせていただいております。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 事業内容じゃないんだけどやり方なんじゃけど、3月までに支給してほしいという話が今までにもあったと思うんです。早く言えば、子供がおるような家庭で、もらえるものが学校に行く準備に使えたりとかという話が今まで多々あったと思うんです。そういう部分に関して配慮はしてないんか。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 多分、補正のほうをおっしゃられてるんですか。第7号補正の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金については、おっしゃられるようになるべく早く支給できるようにさせていただいております。その他のものについては、第8号補正に上げさ

せていただき、令和7年度に計上させていただいているものはまた新たにいろんな事業に使えるものという形で、内容が若干違うということで、非課税世帯等のものについてはなるべく早く補正をさせていただいております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 前のときの話を思い出したら、銀行が対応できんからということで延び延びになるんですと、今頃はそういうのは枠が決まっとんじゃからスムーズにできるんじゃないか。

○委員長（大口浩志君） 下山委員、答えたら答えていただけたらと思うんですけど、歳出に関しては多分担当課が。

○委員（下山哲司君） いや、事業内容じゃなしに……。

○委員長（大口浩志君） おっしゃられる意味は分かりますけど、答えられますか。

○総合政策部長（倉本貴博君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 倉本部長。

○総合政策部長（倉本貴博君） 確におっしゃるようになるべく早く給付するために銀行との折衝をして、ぎりぎりがこのタイミングですという、以前遠藤部長からの答弁があったのを私も記憶しております。そういったことはもうルーチン化しておりますので、なるべく早くしていただくようお願いしてるところですけれども、併せてまた議会運営委員会にお諮りするんですが、この第7号補正予算につきましては手続を少しでも始めるために、議会の初日に議決をいただくという段取りにしておりますので、速やかに執行したいと思っております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） ちょうど議会運営委員会の委員長が聞いていただいてよろしかったです。

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大口浩志君） それでは、令和7年度当初予算部分についてはこれで終わります。

続いて、その他のその他について、説明がありましたらお願いいたします。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） それでは、総務課から職員の名札の変更について御説明します。

総務部資料10ページを御覧ください。

名札に表示していた氏名を名字のみにすることで文字サイズを大きくすると同時に、振り仮名とローマ字表記は残しまして、来庁者にとって見やすく読みやすい名札とする計画をしております。併せまして、職員のプライバシー侵害を防止するため顔写真はなくすように変更しま

して、過剰な要求や迷惑行為への適切な対応を図ることで、安心して働ける職場環境の構築に努めるものでございます。変更は2月下旬を予定しております。

引き続きまして、資料はございませんが特別職報酬等審議会について御報告いたします。

特別職報酬等審議会につきましては、先週1月17日金曜日でございますが、第1回の会議を開催しまして各団体の代表の方や有識者など10名の委員へ委嘱を行いまして諮問、現状把握など情報共有を行ったところです。第2回目以降は、資料と委員の日程調整など準備ができ次第、随時開催していくこととしておりますが、第2回目は2月中旬を予定させていただいております。

以上で総務課からの報告を終わります。

○消防総務課長（金光正浩君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 金光課長。

○消防総務課長（金光正浩君） 消防本部資料4ページを御覧ください。

その他の令和6年中の火災、救急の概要について御説明させていただきます。

初めに火災の概要ですが、令和6年中における火災件数は22件で、昨年より19件の減となっています。内訳としましては、建物火災10件、林野火災2件、車両火災2件、その他の火災8件となります。

その他の火災が19件減少していますが、昨年からたき火、枯れ草焼きなどのその他の火災が増加傾向であったため、定期的に注意喚起を行ってきたところです。火災の件数が減少したことにより、罹災世帯数、罹災人員も減少しています。また、建物の全焼火災が少なかったため、損害額が昨年に比べ6,045万円の減額となっています。火災による死傷者は発生していません。

次に、5ページの救急の概要を御覧ください。

救急の出動件数は2,409件と、前年と比較し71件の増加となっています。救急出動件数は、令和2年のコロナ禍以降729件の増加となっており、依然として増加傾向でございます。

以上、簡単ではございますが令和6年中の火災、救急の概要になります。

続いて、資料6ページを御覧ください。

(2) 赤磐市救急車譲渡式について。

救急車の車両更新に伴い不用となった救急車をウクライナに譲渡することになりました。つきましては、令和7年1月31日金曜日11時40分から赤磐市役所本庁舎2階大会議室で赤磐市救急車譲渡式を行います。来賓として、岡山県副知事上坊勝則様、ウクライナ大使館職員であるユリヤ・ザモルスカ様をお迎えする予定です。

続いて、(3)大規模林野火災訓練についてです。

令和7年3月9日日曜日10時から赤磐市多賀地内で実施されます。この訓練は、消防本部と消防団の連携訓練を主とした訓練となります。

次に、(4)赤磐市消防操法訓練大会についてです。

令和7年3月16日日曜日8時15分から赤坂ファミリー公園で実施いたします。ポンプ車操法、小型ポンプ操法を実施し、小型ポンプ操法の優秀分団は来年度開催される岡山県大会の出場となります。

以上、消防本部からの説明になります。

○委員長（大口浩志君） 1時間を超過しましたが、このまま引き続き走らせていただいてよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大口浩志君） それでは、引き続きやらせていただきます。

ただいまのその他の説明につきまして、質疑がございましたらお願いいたします。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 消防の関係でございますが、テレビでもかなりやっておりますけどロサンゼルス火災、大変な火災だなと思うんですけど、身近でいうと赤磐市も今火災は全体的に減ったとは言われるんですが、野焼きとか林野関係で、特に乾燥してるこの時期に結構燃やされているところがあるんです。中には、風によって道路を塞いで視界が見えなくなったりとかしてるんですけど、ああいう野焼きとかは規約とか規制というか具体的にどういったことがあるんでしょうか。

○消防総務課長（金光正浩君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 金光課長。

○消防総務課長（金光正浩君） 野焼きの件につきましては、煙が出ることによって火災と勘違いされる方がいる場合は届出が必要になっていまして、消防本部に野焼きの届出をしてもらうようになっています。消防本部として、積極的に野焼きをするなという指導がなかなかできないのが現状ではありますが、定期的に乾燥する時期になりましたら消防車両を走らせて広報活動、または大きな煙が上がっているところを見たら確認をしに行き、そこに市民の方がおられるのかどうか、そこで注意喚起を促すといった活動になってきます。

以上です。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） ネオポリスとか山陽団地とか、そういった団地では基本的にはできないと思うんですけど、田畑を持っていらっしゃる方は野焼きとかそういった形でされてると思うんです。団地からいうとええなあと言われる話もあるんです、何でも燃やせると。でも、中には黒い煙がすごい出てるんで、草とかそういうのだったら分かるんですけど、違うものも燃やされているということを感じることがあるんですが、そういった規制はないんでしょうか。

○消防総務課長（金光正浩君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 金光課長。

○消防総務課長（金光正浩君） 消防としては、そのような通報もあったりします。実際に現地で確認し、消してもらうといったことをしたことがあります。環境面に関してほかの部署で対応ということで御相談させていただくこともありました。

消防本部からは以上です。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 環境問題もありますし、今火事で乾燥してる時期なんか特に怖いなどというのは改めて思うんで、そういった啓発ですよ。なかなか規制はできないというのがあるんですけど、意識の問題だと思うんですけど、そういった啓発を広報とかしっかりやっていただきたいのと、中には団地の中でも燃やされている方がおられると言われる方がおるんです。団地なんかは特に怖いと思うんですけどそういったことも含めて、例えば町内会に入っていない方は結構市の町内会の回覧板とかを見て意識は高いと思うんですけど、町内会に入っていない方はなかなかごみの分別も理解されてないともあったりとかして、中にはそうやって燃やされることもあるみたいなんです。そういったことも含めて、啓発をしっかりやっていただきたい。こういう分別もそうだし、環境的にもそうだし、団地内は絶対に燃やしては駄目なんだという意識を共通認識できるような啓発を消防だけじゃないと思うんです、くらし安全課もそうだと思うんですけど、その辺のことをどんなでしょうか。

○消防長（檜原秀幸君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 檜原消防長。

○消防長（檜原秀幸君） 大変、御提案ありがとうございます。火災危険が空気が乾燥して高まっております。消防車等々、毎月7日に走らせて広報も実施しているところではございますが、しっかり煙が上がっているようなところには注意喚起を促していったりしまして、火災を極力ゼロに近づけていきたいと思っております。

○委員長（大口浩志君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大口浩志君） それでは、ほかに執行部から何かございますか。

○総務部長（戸川邦彦君） 執行部ありません。

○委員長（大口浩志君） 委員から何かございますか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 冒頭に委員長が発言された内容について、全然中身が分からないんですが、具体的に委員会の中で発言されたんで教えていただけますか。

○委員長（大口浩志君） 私が冒頭におわびをさせていただきました件は、11月の委員会で御

報告とおわびがございました消防団の車両が1週間ほどでしたか、車検が切れとるものを1日何キロメートルかにわたって運用したということの御報告を11月の委員会でいただいて、12月の中頃に新聞へ載ったということでございます。

以上です。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 事実経過として委員長が報告をしたと捉えてたんですが、その件で何か不都合があったんですか。

○委員長（大口浩志君） 御指摘がございましたので、おわびをしました。

委員会では、11月の委員会で消防からこういう事象がございましたと、それに向けてはこういう対策を打っておりますということを併せて御報告を受けておった案件が12月半ばにマスコミ報道等がございまして、それについて御指摘を受けましたので、先ほど申し上げましたように私の目配り、気配りができておりませんで御迷惑をお掛けしましたので、おわびをさせていただきます。

以上でございます。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 今回消防団の話でさっき委員長が言われたけど、私も前回委員会で聞いてたんで、またそこできっちり我々が突っ込まなかったのがいけんかったのかなと思うんですけど、どちらにしろこれを機に、そこだけじゃなくてほかの消防団もそうでしょうし、赤磐市所有の車とか、車両関係は大丈夫か、こういった管理体制になってるかいうのも含めて再度、赤磐市の公用車とかの管理はどういう形になっとんでしょうか。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 公用車につきましては、管財課で一定の台帳を持ちまして集中管理しております。従来からきちっと管理をしておりまして、各担当課で所属長が中心となって運行管理をする担当職員、それから所属長が供用管理、私が安全運転管理者としてこういった副次的なチェック体制を取っております。毎月月例で報告を紙ベースでいつ、誰が、どこに、いつからいつまで、何キロメートル、そういった庁用車報告を随時点検している管理体制になっております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 例えば、今頃データ管理みたいなことはされていないんですか。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） そういったシステムもあるとこで、随時情報は受けて検討はしておりますが、現在はエクセルとかを活用しながら一部データ化して管理をしております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 人間の管理というのは、重なったときに事故というのが起こるじゃないですか。大丈夫だろ大丈夫だろうって、たまたま見てないのが重なった場合に事故というのがあるもんで、今の時代はD Xの時代でもございますから、これを機にきちっと各部署が管理するのもそうだけど、全体できちっと毎月管理ができるような、見ても分かるようなデータ管理をすることも考えていくべきだと思うんです。エクセルでも、例えば期限を入れとったら色が変わることがあるじゃないですか、変えられるような、もともとソフトの中に入ってるじゃないですか、そういったことも含めてデータ管理をきちっとすべきだと思うんですけど。

各部署に任せるのも一緒だけど、全体で管財課の課長でも毎月きちっと大丈夫というのを確認しないとかいったことが起こるんじゃないか。消防団だけじゃないと思うんです。消防団のほうは、消防署の本部がきちっと管理できるようにしていかないと、めったに使わなかったら分からなかったということがあると思うんです。そういったことも含めて、これを機にやるべきだと思うんですけど、それぞれ答弁をお願いします。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 集中管理を徹底する、それからシステムの活用、そういったところも検討するという御提案でございます。御提案ありがとうございます。引き続き、そういうところも精査して、検討してまいりたいと考えております。

以上です。

○消防長（檜原秀幸君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 檜原消防長。

○消防長（檜原秀幸君） 御提案ありがとうございます。

事故が起こってから毎日消防団係がチェックを2人体制でしております。それで、漏れのないように、絶対に同じような事案が発生しないように心がけております。あれから肝に銘じておりますので、御了承いただきたいと思います。このたびは、メディア発表ということが御報告できなかったことも反省いたしております。誠に申し訳ございませんでした。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいでしょうか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 以前に、水道メーターの期限切れで大きな問題になって、それ以降徹

底する、これも同じことじゃが、検査切れじゃから。だから、あのときに言うたように、やる考え方がきちっと徹底的できとらんのではないんという話があったと思うんです。その辺は、町のガバナンスとしてこういうふうにやるんじゃということがまだ確立できとらんということにしか思えんのよ。だから、その辺は徹底してやってもらいたいと言うて終わります。

○委員長（大口浩志君） 御要望ということでよろしいですか。

○委員（下山哲司君） 要望というより、やらにゃあいけんのんじゃから、当たり前の話。

○委員長（大口浩志君） ほかに何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大口浩志君） それでは、その他についてはもうないようでございますので、以上をもちまして総務常任委員会を閉会いたします。

午前11時17分 閉会